

令和7年度 学校評価アンケート結果

柏市立柏第一小学校

1 概要

本校では、学校教育目標「かしわ一小けんめい！～よく笑い よく遊び よく学ぶ～」を基本的な考えとし、「安全・安心な環境づくり」「学力差への対応」「心の教育・居場所づくり」「健康教育の充実」「職員の資質・指導力の向上」の5つの柱を軸に、「保護者や地域に信頼される学校づくり」を目指して教育活動に取り組んできました。

今回の学校評価アンケートの結果を見ると、多くの項目において前向きな評価が得られ、児童の肯定的な回答の割合も昨年度と大きな変化はなく、本校の教育活動が受け止めていただいていることが分かります。一方で、立場による感じ方の違いや、今後さらに丁寧に取り組む必要のある課題も確認することができました。例えば、「読書習慣」「家庭学習」については保護者評価が相対的に低い傾向があり、また「あいさつ」については児童・保護者と教職員の受け止め方に差が見られました。

今回の結果を真摯に受け止め、これまでの取組の良さを生かしながら、子どもたち一人一人が安心して過ごし、成長を実感できる学校づくりに努めてまいります。今後とも、本校の教育活動へのご理解とご協力をお願いいたします。

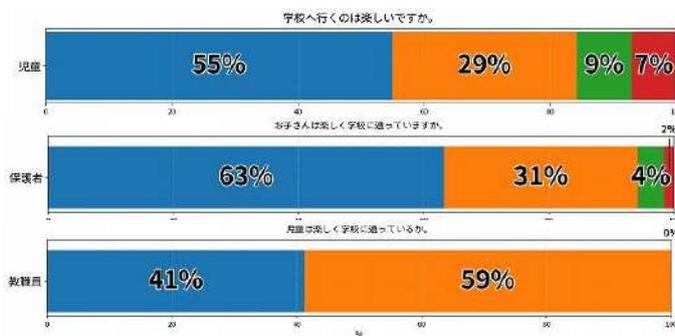
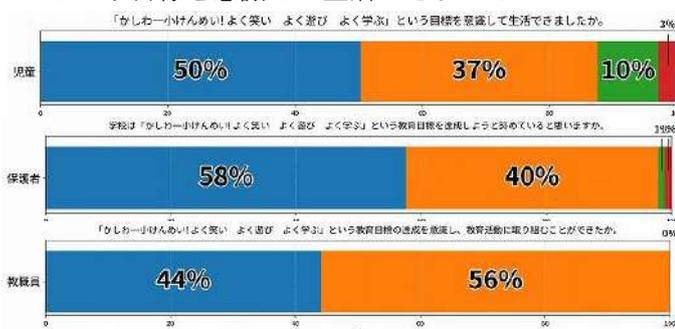
<上：児童 中：保護者 下：教職員>

2 学校教育目標の具現化に向けた取り組み



(1) 学校教育目標に向けて

- 1 「かしわ一小けんめい！よく笑い よく遊び よく学ぶ」という目標を意識して生活できましたか
- 2 学校へ行くのは楽しいですか

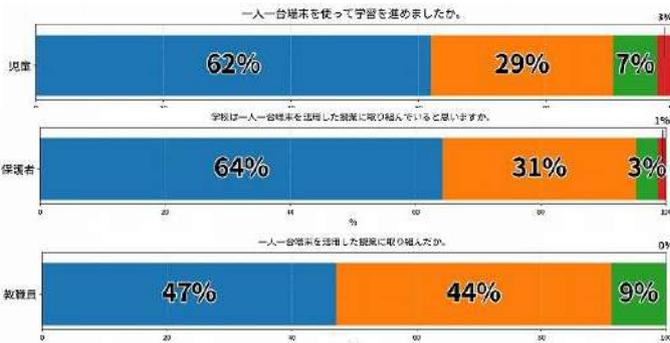
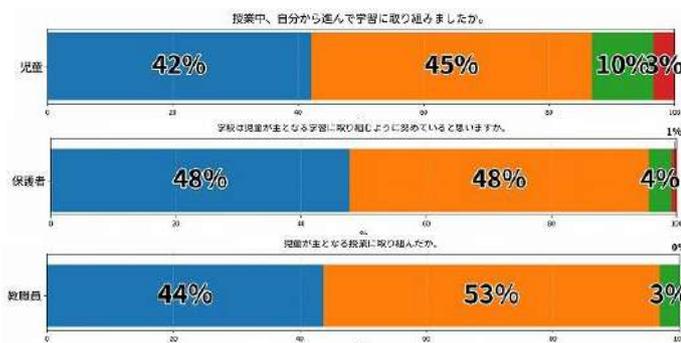


- 3 学校には自慢できる良いところがありますか



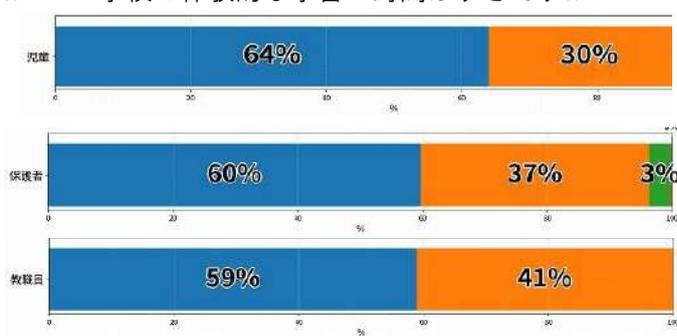
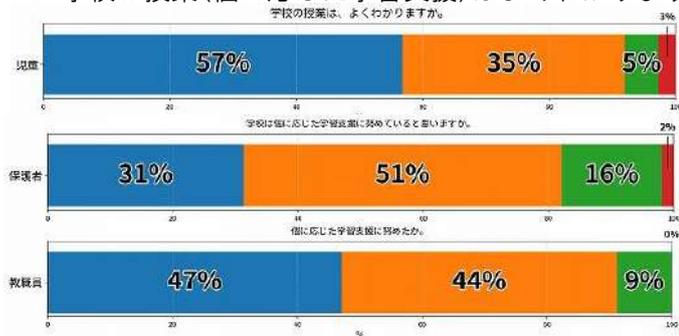
(2) (知)学力差への対応, 教職員の資質・指導力の向上

- 4 授業中、自分から進んで学習に取り組みましたか
- 5 一人一台端末を使って学習を進めましたか



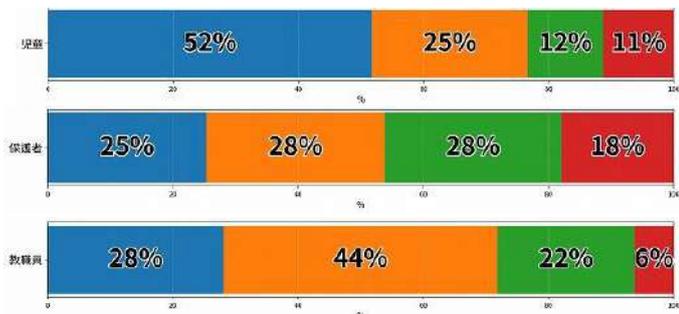
6 学校の授業(個に応じた学習支援)はよくわかりますか

7 学校の体験的な学習の時間はすきですか



8 本を読むのが好きですか

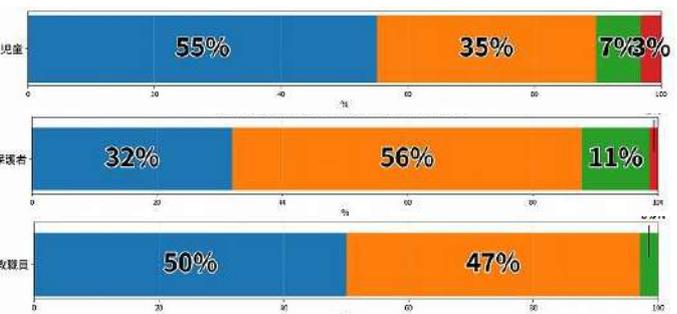
9 宿題は忘れずにやっていますか



(3) (徳)心の教育・居場所づくり

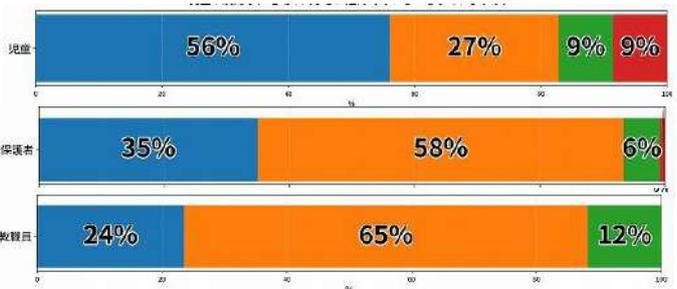
10 先生や友達、地域の人に進んで挨拶をしていますか

11 道徳の時間は自分の考えを持つことができましたか

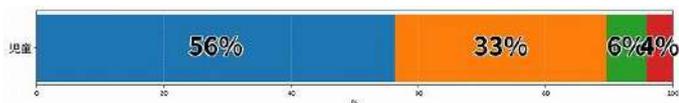


12 先生や友達は自分のことをよくわかっていますか

13 いじめや悪口など人の嫌がることはしていませんか (思いやりのある言動がとれていますか)



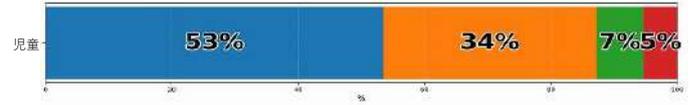
14 先生は自分たちが頑張ったことを認めたりほめたりしてくれましたか



15 なやんでいること、こまっていることがあった時、だれかに相談していますか



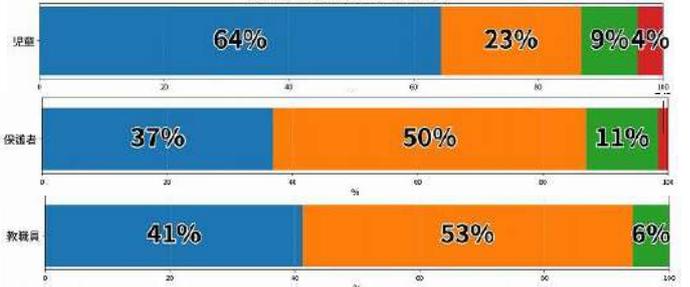
16 先生は困った時に何でも相談にのってくれましたか



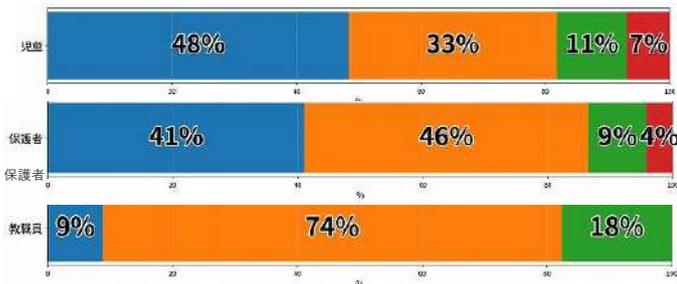
17 手洗いやうがいなどをきちんと行い、健康に気をつけて生活できましたか



18 運動や外遊び等進んで体を動かすことができましたか



19 早寝、早起き、朝ご飯を心がけて生活していますか

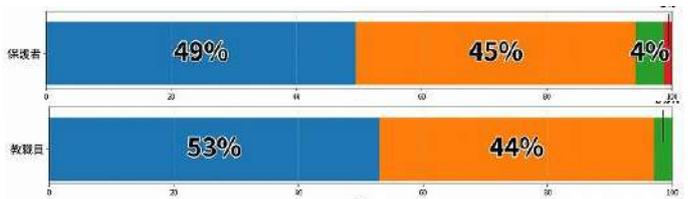


<保護者：学校に望むこと>

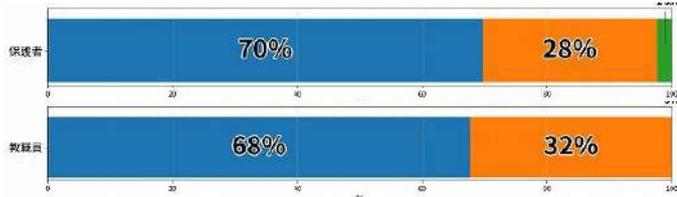
20 安全に気をつけて生活できましたか



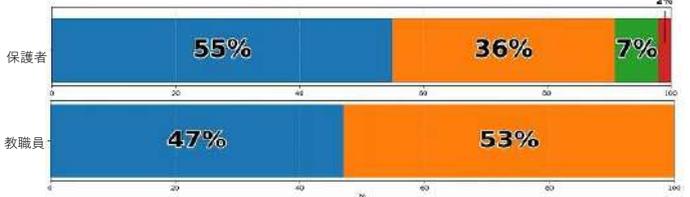
21 柏一小的教職員は一体となって教育活動に取り組んでいると思いますか



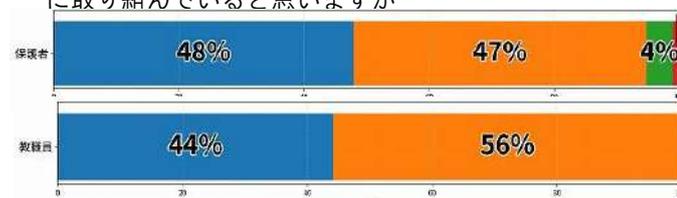
22 学校はSigfyや学校HPを活用して積極的に情報提供を行っていると思いますか



23 学校はお子さんのことで困ったことがあった時、保護者が相談しやすい雰囲気があると思いますか



24 学校は保護者や地域と連携を取り、協力して教育活動に取り組んでいると思いますか



令和7年度 教育活動アンケート集計結果

項目	アンケート結果から	改善策等
<p>学校教育目標について</p>	<p>「かしわ一小けんめい！～よく笑い～よく遊び～よく学ぶ」という学校教育目標を意識して取り組むことができ、その結果が表れていると思います。</p> <p>NO.1「学校目標」について、保護者から98%、児童からも87%の肯定的評価を得ました。NO.2「学校は楽しいか」について、肯定的な評価を児童から84%、保護者からは94%の評価を得ました。これらの結果から、本校の教育目標や学校生活が、家庭と学校の双方において概ね共有され、児童の学校生活への前向きな受け止めにつながっている様子がうかがえます。</p>	<p>学校教育目標については、日々の学校生活や学習活動を通して、子どもたちの中にも少しずつ意識されるようになってきています。NO.2の「学校は楽しいか」については、肯定的な回答の割合は昨年度と大きな差は見られませんでした。一方で、楽しいと感じられていない児童が一定数いるという結果を、重く受け止めています。担任を中心に教職員が連携し、児童一人一人の思いや状況を丁寧に把握しながら、必要な支援を進めていきます。今後も、すべての児童が安心して前向きに学校生活を送れるよう、学級づくりや授業づくりに組織的に取り組んでまいります。</p>
<p>(知) 学力差への対応、教職員の資質・指導力の向上 『学習指導について』</p>	<p>NO.4「児童が主体的に学習に取り組む姿」について、児童の87%、保護者の96%、教職員の97%から肯定的評価を得ました。昨年度に引き続き高い数値となっており、学習場面において、児童が自ら考え取り組もうとする姿勢が、教職員だけでなく家庭からも一定程度評価されていることが読み取れます。</p> <p>NO.5「一人一台端末の活用」については、昨年度と同様に、児童・保護者ともに肯定的な回答が90%を超える結果となりました。端末活用が授業の中に定着し、考えを表したり深めたりする場面で活用されていることが、今回の結果につながっていると受け止めています。今後も、表現や対話を大切にしたい学習活動を通して、主体的に学ぶ力の育成を図っていきます。</p> <p>NO.7「体験学習」については、児童・保護者ともに肯定的な回答が90%を超える結果となりました。体験的な活動を通して、児童の興味・関心が高まり、主体的に学ぼうと意欲が高まっていることがうかがえます。今後も教育活動の中で計画的に位置付け、充実を図っていきます。NO.8「読書」については、保護者の肯定的評価が53%となり、全設問の保護者評価の中で最低値となりました。一方で、児童は77%が肯定的な回答をしており、児童と保護者の受け止め方に開きが見られる結果となっています。</p>	<p>NO.8「読書」については、児童の実態と保護者の評価に差が見られたことを受け、学校における読書活動の在り方について見直していく必要があると捉えています。これまで、司書教諭や図書館指導員と連携し、読書月間の取組をはじめとした図書室利用の推進や、図書委員会を中心とする児童の主体的な活動の充実を図ってきました。今後は、一人一台端末を活用した学習とのバランスにも配慮しながら、学級や学年での読書の時間を大切に、発達段階に応じた読書活動の工夫を重ねることで、学校全体として読書活動のさらなる推進に取り組んでいきます。</p> <p>NO.9「家庭学習」については、保護者は67%、児童は86%の肯定的評価でした。多くの児童が家庭で学習に取り組んでいる様子が見られることから、日常的な学習習慣が一定程度身に付いていることがうかがえます。今後は、学校での学びが家庭学習につながるよう課題内容の工夫を行っていきます。</p>

<p>(徳) 心の教育・居場所づくり</p> <p>『生徒指導について』</p>	<p>NO.10「挨拶」については、昨年度よりも保護者、児童共に肯定的評価が4ポイント上昇しており、児童90%、保護者84%肯定的評価を得ました。</p> <p>NO.13「思いやりのある言動」については、昨年度と同様、児童、保護者、教職員共に数値が高い反面、「思わない」と回答している児童も、昨年度同様、約10%となっている。</p>	<p>NO.10 挨拶については、児童・保護者の肯定的評価が昨年度より4ポイント上昇する一方で、教職員の肯定的評価は59%にとどまっています。この結果を踏まえ、挨拶が日常的に行われる学校の雰囲気づくりについて、教職員自身がより意識を高め、今後は、教職員が率先して挨拶を交わす姿を大切にしながら、児童が自然に挨拶を行える環境をつくり、挨拶の定着と質の向上を図っていきます。</p> <p>NO.13 思いやりのある言動については、「思わない」と回答している児童が昨年同様、10%という結果となりました。日常の学校生活や学級活動の中で、互いの気持ちを考えた言動の大切さについて、継続して指導していくと共に、今後も、様々な教育活動を通して心の教育に力を入れ、思いやりの心を育む取組を進めていきます。</p>
<p>(徳) 心の教育・居場所づくり</p> <p>『健康・安全について』</p>	<p>NO.17「感染症対策」については、高い肯定的評価が得られました。日常的な換気の実施や、委員会・係活動を通じた呼びかけなどを重ねる中で、健康に留意して行動しようとする意識が、児童の中に徐々に広がってきている様子がうかがえます。今後も、子どもたちの安全を最優先に考え、状況に応じた感染症対策を継続していきます。</p> <p>NO.18「健康対策」については、児童の87%が肯定的に評価しています。委員会活動を中心に、児童が主体となって取り組む〇〇週間を実施するなど、健康や体力づくりへの意識を高めていくことができたことと受け止めています。今後も、児童の実態に応じた工夫を行いながら、健康の保持・増進と体力向上につながる取組を進めていきます。</p>	<p>NO.19 基本的な生活習慣については、大半の児童が、朝食をとってから登校しています。児童が学校生活の中で意欲的に学び、活動していくためには、日々の食生活を含めた健康管理が重要であると考えております。今後は、授業や学級での指導を通して、自分の健康を意識する力を育てるとともに、学校としての取組や情報提供を行いながら、保護者の皆様と連携して生活習慣の定着を進めていきます。</p>
<p>信頼される学校づくりについて</p>	<p>NO.21「教職員の一体感」については、保護者・教職員ともに95%の肯定的評価が得られました。日々の教育活動において、教職員間での連携や共通理解が一定程度図られていることがうかがえます。今後も、学校全体で方向性を共有し、組織としての一体感を大切にしながら進めていきます。</p> <p>NO.22「情報提供」については、保護者から98%という高い評価を得ました。今後も、適学校の取組が伝わる情報発信を継続していきます。</p>	<p>今後も、児童がより良く生きるための基盤となる道徳教育を重視し、日々の教育活動の中で継続的に指導していきます。あわせて、児童一人一人の実態に応じた指導の充実を図り、確かな学力の定着につながるよう、授業改善に取り組んでいきます。また、地域との連携や協力についても高い肯定的評価が得られていることを踏まえ、地域の方々と共に子どもたちの成長を支える教育活動を大切にしながら、学校・家庭・地域が一体となった取組を進めていきます。</p>

《教育活動アンケートに寄せられたご意見について》

【学校施設について】

○トイレについて

トイレ（水回り）につきましては、これまでも柏市教育委員会に改善をお願いしてまいりましたが、建物の構造上、改修が難しい部分もあるとの回答を受けております。学校としましては、日常的な点検と修繕を重ねながら、できる限り安全で衛生的に使用できる環境の維持に努めて参ります。現在は、使用トイレを学年ごとに指定して運用しています。子どもたちには早めの声かけを継続しつつ、あわせて、緊急の場合には近くのトイレを使用してよいことを周知し、安全・安心に過ごせるよう対応していきます。

【安全面について】

○門の開閉及び下校時の見守りについて

安全面の対策として、子ども達が登校後に門、昇降口の扉を閉めるようにしております。構造上、施錠することは難しいため、防犯カメラの設置と職員の見回りで対応しています。今年度は、教職員向けに不審者対応研修を実施し、危機管理意識の向上を図りました。今後も、日常の見回りと初動対応などの意識を向上させ、安全確保に努めていきます。

ここ最近の不審者情報が多いことも心配しております。保護者への Sigfy での周知はもちろんのこと、子ども達へも学級指導等で注意喚起を行ってまいります。下校時の見守りについては、学校運営協議会や PTA 本部と共に、対応を講じてまいります。

○通学路上の課題について

柏市や PTA 本部、地域とも連携をして取り組んでおります。通学路上の安全面と諸課題についてはまだまだ改善すべき点があると思っておりますが、継続して関係機関と連携しながら取り組んでいきます。

【一人一台端末について】

○連絡帳の取り扱いについて

翌日の予定につきましては、現在、端末のクラスルーム上に掲載する形でお知らせしています。各ご家庭の状況により、クラスルームでの確認が難しい場合があることも踏まえ、必要に応じて、従来どおり紙の連絡帳に予定を記入して下校する対応も可能です。ご希望の際は、遠慮なく担任までお申し出ください。今後も、保護者の皆様にとって確認しやすい方法となるよう、運用面で工夫しながら進めてまいります。

○家での PC の使い方について

一人一台端末の配備により、学習の場面や学び方の幅が広がっています。学校では、端末のよさを生かしながら、家庭においても正しく、安心して活用できるよう、引き続き指導していきます。その際には、『PC の使い方の決まり』を守ることを大切に、学校でも繰り返し確認してまいります。

一方で、ご家庭での活用が進むにつれ、使用方法や活用のルールについて、不安を感じる場面もあるかと存じます。端末の利用の仕方について不安やご心配がある場合には、個別に担任または学校までいつでもご相談ください。学校とご家庭で連携しながら、お子様が安全に端末を活用できるようサポートしてまいります。

【教職員について】

○教職員の対応について

教職員の対応につきまして、貴重なご意見をいただき感謝申し上げます。いただいたお声の一つひとつを真摯に受け止め、日々の指導の充実につなげていく考えです。特に、授業の質や子どもたち一人ひとりへの理解についてのご指摘は、組織として改善すべき重要な課題であると認識しております。全教職員がこれまで以上に児童理解を深めるとともに、指導方針の共通理解を徹底し、学校全体で足並みをそろえた誠実な関わりに努めてまいります。今後も、教職員と児童、そして保護者の皆様との信頼関係を第一に考え、丁寧なコミュニケーションと指導を積み重ねていきます。

○教育相談の窓口について

お子様のことで相談がある場合は、担任だけでなく、学年主任にもご相談いただけます。また、教頭・養護教諭（佐藤美香）・教務主任の飯島教諭・中村教諭・佐藤逸容教諭・間島教諭は、教育相談の担当者となっておりますので、いつでもお気軽にご相談いただきたく存じます。

【学校行事・教育課程について】

学校行事や教育課程につきましても、多くの貴重なご意見をいただきありがとうございました。お寄せいただいた視点を大切に受け止め、次年度の計画や日々の教育活動の改善に反映させていく考えです。今後は、それぞれの活動の目的を改めて見つめ直し、子どもたちにとってより豊かで実りあるものとなるよう、内容の精査と充実を図ってまいります。あわせて、一つひとつの活動を精査し、次世代へと繋がる最適な教育活動のあり方を追求することで、学校全体で質の高い学びを提供できるよう努めていきたいと思っております。

今年度も、学校評価アンケートにご協力くださり、心より感謝申し上げます。お寄せいただいた数々のご意見は、本校の教育活動を振り返るうえで大変貴重な指針となりました。紙面の都合上、主な内容に絞っての記載となりますが、いただいた全てのご意見を職員間で共有し、真摯に受け止めております。

この度の評価から明らかになった課題につきましては、全職員で共通理解を図り、次年度のより良い学校運営に向けて改善を図ってまいります。今後も、柏一小の子どもたちが「かしわ一小けんめい！よく笑い よく遊び よく学ぶ」を合言葉に子どもたちが充実した学校生活を送り、健やかに成長していけるよう努めてまいります。

《学校運営協議会委員からのご意見》

【学校生活の充実・居場所づくり・相談支援について】

- ・保護者・児童は好意的に学校を評価している。ただ、学校が楽しくないと答えている児童の割合が気になり。自己肯定感を高めていくことが必要ではないかと思う。また、その理由について、友達関係、授業、通学、学校生活全般など、どこに要因があるのかを丁寧に聞いてみてはどうか。
- ・子供たちが安心して通える居場所づくりが求められる。
- ・教育相談を充実させ、複数の積極的なアプローチを進めて欲しい。
- ・一定数の意見や要望については、児童からのサインとして捉え、丁寧に対応して欲しい。

【教育課程・行事について】

- ・授業について、子ども達の興味をひく工夫がされており、良い取組ではないかと思う。
- ・学習意欲を育む「わかる授業」や、児童が生き生きと活動する授業を参観できた。先生と児童に一体感がある様子も見られ、よい学習環境につながっているのではないかと思う。このような様子がアンケート結果にも反映されていると思う。
- ・体験的な学習についても、全体として肯定的に受け止められており、今後も大切にしたい。
- ・低学年のうちから読書を習慣づける取組を進めてはどうか。また、本を読むことを好きになるような仕掛けを工夫して欲しい。
- ・ICT活用が進む中で、読書とのバランスについても見直していく必要があるのではないかと思う。

【その他】

- ・学校行事等を見る限り、児童は子どもらしく元気に過ごしていると感じられる。ただ、アンケート結果の児童と教職員との回答の差がある項目もあるので、なぜそうなったのかについては、詳しく見ていく必要がある。
- ・学校が取り組んでいることについて、今まで以上地域や保護者へ伝えていっても良いのではないかと。
- ・あいさつについては、これからも意識し、継続して行って欲しい。
- ・通学路の安全確保については、町会のボランティアを増やすなどして、見守り体制を強化していくことも視野に入れていきたい。
- ・全教職員が、教育目標達成に向かって進んでいる結果、良好な評価を得たと思う。次年度も、教育目標を意識しながら、教育活動を充実して行って欲しい。